

forum かわあばん

発行：(一社)福井県建築士会 〒910-0854福井市御幸3-10-15(福井県建設会館) TEL(0776)24-8781/FAX(0776)24-9570
E-mail : info@fukuiken-kenchikushikai.or.jp HP : http://www.fukuiken-kenchikushikai.or.jp/

お知らせ

福井県建築士会ホームページが リニューアルしました!

アナログな時代より慣れ親しんできたホームページでしたが、6月より、デジタル化の進んだこの時代に沿ったホームページに一新することになりました。

士会からの情報発信のみならず、皆様からのご参画も反映できる「会員の、会員による、会員のための」サイトを目指していきたいと思っております。



◀サイトのQRコード

お知らせ

ふくいヘリテージマネージャー 養成講座 受講生募集

歴史的建造物の調査・改修・活用について、講義と演習で総合的かつ実践的に学びます。60単位の修了者には『ふくいヘリテージマネージャー』としての資格が認定されます。CPD60単位も取得できます。

新型コロナで延期され、4年ぶりの実施です。今後数年間の予定はありませんので、今年度の受講をお勧めします。

受講料：福井県建築士会正会員は3万円、左記以外は4万円
と き：令和5年7月8日(土)~12月16日(土)

会 場：講座は福井市内、実習は県内各地で。

募集人員：30名

募集締切：令和5年6月30日(金)

※その他詳細につきましては、今月配布しましたチラシをご覧ください。

申込・問合せ先：福井県建築士会事務局

TEL 0776-24-8781 FAX 0776-24-9570

お知らせ 令和5年度 一級・二級・木造建築士 定期講習について

定期講習は建築士法により建築士事務所に所属する建築士が3年に1回必ず受講しなければいけないこととなっております。

令和2年度中に受講された方は、令和5年度中に受講する義務があります。未受講の方は建築士法違反になりますので、対象の方は必ず受講するようお願いいたします。

建築士会では右記のとおり4回の開催となります。受講される方は早めの申込みをお願いします。申込書は福井県建築士会のホームページからダウンロードできます。

と ころ：福井県中小企業産業大学校（福井市下六条町16-15）

受 講 料：12,980円 受 付：随時行っています。定員に達し次第締切させていただきます。

講義方式：第1回、第2回、第3回、第4回（DVD講習） ※CPD単位が6単位つきます。昼食を用意しています。

第1回	令和5年 6月30日(金)	定員に達し 締切りました
第2回	令和5年 9月26日(火)	(定員70名)
第3回	令和5年 10月31日(火)	(定員70名)
第4回	令和6年 2月27日(火)	(定員30名)

お知らせ 既存住宅状況調査技術者講習開催のご案内

平成28年6月に宅地建物取引業法が一部改正され、平成30年4月から既存住宅の売買時に「既存住宅状況調査」の説明が義務付けられました。調査の実施は、登録機関の講習を終了した建築士のみ認められる新たな建築士業務です。今年は令和元年度に資格取得された方の3年目の更新時期となります。下記のとおり更新講習3回と新規講習1回を計画しました。是非受講していただきますようご検討ください。

新規講習 CPD5単位(定員24名)

と き：令和6年1月23日(火) 9:30~17:00

と ころ：福井県中小企業産業大学校 第1中教室

受講料：Web申込…21,450円(税込)、郵送申込…22,000円(税込)

更新講習 CPD2単位(定員24名)

と き：令和5年8月22日(火)、10月17日(火)、11月21日(火) 13:30~17:00

と ころ：福井県中小企業産業大学校 第1中教室

受講料：Web申込…17,000円(税込)、郵送申込…17,600円(税込)

申込方法：日本建築士会連合会HPよりお申し込みください。http://www.kenchikushikai.or.jp

問 合 先：(一社)福井県建築士会 TEL 0776-24-8781まで

【定期報告の必需品】風速計、CO₂測定器等貸出

会員 1,000円/日・非会員 3,000円/日

建築設備の定期報告に必要な、風速計(熱線式)、照度計、CO₂測定器、非常灯引張棒の4点セットを会員特典付きにて、貸出開始致します。器具は全て日本製ですので安心して使用可能です。

利用の際は、建築士会事務局の方へお問い合わせ下さい。

TEL 0776-24-8781

情報提供コーナー

●「BIM技術者に対する技法、技術研修」の実施について
(主催：日本建築士事務所協会)

実習を交えた研修と、実際の建築プロジェクトを作成する演習の二段階の研修で構成された実践的な講習プログラムにより、建築技術者が実際の建築プロジェクトでBIMを活用して完成させるために必要な一連のスキル習得を目指します。

研修内容の詳細はBIM GATE (https://bimgate.jp/) 内申込ページよりご確認ください。

令和5年度 監理技術者講習 開催のお知らせ



本講習は公益社団法人日本建築士会連合会が国土交通省より「監理技術者講習」の登録講習機関の認可を受け、福井県建築士会が開催するものでございます。本年度は右記の日程表のとおり開催いたします。特に、一級建築士、1級建築施工管理技士、1級電気工事施工管理技士、1級管工事施工管理技士等の建築工事分野でご活躍されている監理技術者を対象に、実務に役立つ充実した内容の講習を行いますので、この機会に多くの建築施工系監理技術者の受講をお願いいたします。

受講申込：随時行っています。

受講料：テキスト・講習修了ラベル代込、税込

土木系の監理技術者の受講も可能です。

・WEB申込み…9,500円/1名 ・郵送・窓口申込み…10,000円/1名

講義の内容：DVDによる講義+修了試験(計360分)行います。

申込み方法：日本建築士会連合会のホームページで「監理技術者講習」の申込ページをご覧ください。<http://www.kenchikushikai.or.jp/>

※企業一括申込み(2名以上)が可能です。詳しくは下記まで電話下さい。

問合せ先：(一社)福井県建築士会 TEL 0776-24-8781 まで

◆令和5年度監理技術者講習 日程表

会場	開催日		
福井	4月5日(水)	6月7日(水)	8月2日(水)
	10月4日(水)	12月6日(水)	2024年2月7日(水)
敦賀	6月21日(水)	10月24日(火)	2024年2月21日(水)

福井会場/第2演習室(定員18名) 敦賀会場/会議室(定員15名)

◆会場所在地

【福井会場】福井県中小企業産業大学校

(福井市下六条町16-15)

【敦賀会場】プラザ萬象(敦賀市東洋町1-1)

建築士会が行う監理技術者講習の特色 ▶ ① 建築に特化した実務に役立つ講習 ② わかりやすく利便性の高いテキスト使用 ③ 建築士会CPD単位6単位の付与 ④ 上記以外に建築士会CPD制度加入者の方は建築士会連合会のWEB問題回答でのCPD単位(2ヶ月に一度3単位取得可能年間最大18単位)が受講後5年間取得可能となります。

危険ブロック塀の除去費用を補助します。



【お申し込みの条件】

■対象となる工事

福井市が設置する小・中学校への通学路に面した危険ブロック塀※の除却又は除却後の木塀への建替え
※高さ80cm以上のブロック塀であって、「安全点検チェックリスト」による耐震診断の結果、倒壊の危険性があると判断されたもの。

■申し込みできる方

危険ブロック塀を所有する方

【補助額】

【補助額】 次の額のうちのいずれか低い額

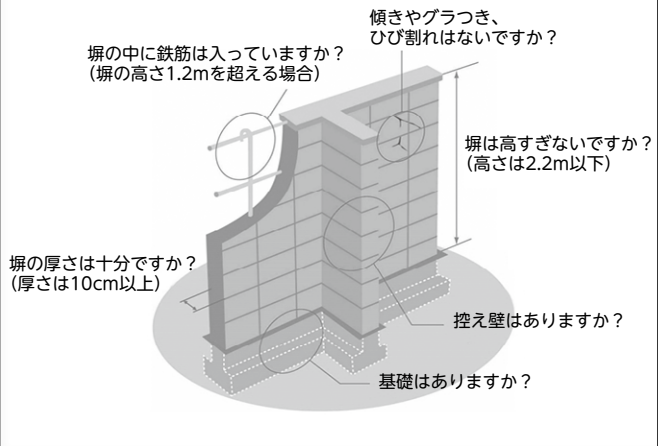
・除却工事費 × 2/3

・塀の見付面積 × 3,500円/㎡

【上限額】 …… 50,000円

木塀への建替えは、県産材を使用するもの等に限
り、工事費の一部の補助が受けられます。
(上限額100,000円)

ブロック塀の点検とチェックポイント



お問い合わせ：福井市 建築指導課 TEL 0776-20-5574

建築士の日記念事業 ふくい建築情報フェスタ2023 開催のお知らせ

建築士の日とは7月1日に定められました。福井県建築士会は建築士の日に近い日曜日に建築士をPRするふくい建築情報フェスタを開催します。

と き：令和5年6月25日(日) 開催11:00~16:00

と ころ：アオッサ 1階アトリウム 福井市手寄1丁目4番1号

展 示 コ ー ナ ー：建築士の日とは、ふくい建築賞 表彰作品、伝統的民家のある風景、歴史的建造物など

建築無料相談会コーナー：建築士会相談員、福井県・福井市相談員 耐震改修など行政情報も発信

親子工作・建築環境体験コーナー：ペン立て、巣箱型ティッシュケースの工作 建築環境体験コーナー

えいじゅ通信 VOL.107



◆活動予定

From 女性委員会

○第4回定例会議

と き：6月14日(水) 19:30~

と ころ：ユトリ珈琲開発店

お茶を飲みながら今後の活動について意見交換しませんか?

女性委員長 本岡 美由希
MAIL:miyuyuki@miaaa.biz

【1970~90年代の県外建築家の作品紹介③】

廣瀬廣嗣・野中裕介・川端秀和・朝日海秀・市川和



谷口吉生(1937~)



全景(竣工当時:北側正面より)

谷口吉生・高宮真介

幾何学的構成を試みた「福井相互銀行成和支店 1976」

建築家のことば/「この銀行では、ファサードには室内への動線の起点としての意味をもたせただけで、銀行らしさはすべて内におし込めた。灰色のタイルの外観は、あるときは街の雑然とした風景に消え、あるときは北国の曇り空に同化し、歩道からかい間見えるガラスの箱の中のみ都市の表情を凝縮した。」
谷口吉生「像と地」(『新建築』1976.6)

建築家・谷口 吉生(1937~)は、父・吉郎のもと東京都で生まれ、ハーバード大学大学院修了後、現地の建築事務所勤務を経て帰国後、東京大学で丹下健三に師事した。1975年に高宮真介と「計画・設計工房」を共同設立し、1979年に父の事務所を引き継ぎ、代表作「豊田美術館1995」「ニューヨーク近代美術館新館2004」「鈴木大拙館2011」等を発表し、日本建築学会賞(1984・2001)や高松宮殿下記念世界文化賞(2005)等を受賞した。谷口の作風は現代的視点からモダニズムと地域性の関わりを捉え直し、線と面による厳格な秩序で構成される建築空間現象には清らかな雪国の風土性をどこか想起させる。それを象徴した初期作品「福井相互銀行成和支店(1976)」(掲載誌:『新建築』1976/6、現・福邦銀行)が当県に現存する。当作品は一見、単純な箱型の形態に映るが、内部への導入の役目の立方体を40度で交差させたことから周囲に三角状の空間が創出され、異なる機能を果たしている。このような建築生成プロセスは、立地周辺の都市化に対する閉鎖的な外観から静謐な内部への段階的な空間移動も可能にし、先輩の横文彦は「三重の空間の獲得」として高評した。ここに谷口の独自の制作態度の萌芽を垣間見るのである。(朝日海秀/榎サワコン)